

令和6年度 北海道函館盲学校経営方針

令和6年4月1日

北海道教育の基本理念

- <自立> 自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、
自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む
- <共生> ふるさとへの誇りと愛着を持ち、
これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む

学校教育目標

自ら、学ぶ子 心を伝える子 活動する子 を育てます

【目指す学校像】・【教育ビジョン】

- 1 児童生徒の生きる力を育み、自立と社会参加を目指す学校【一人一人の可能性を引き出す教育の推進】
- 2 教職員が専門性を発揮し、豊かな教育活動を実践する学校【学びの機会を保障する教育の推進】
- 3 家庭や地域と連携・協働し、信頼される学校【地域とともに歩む教育の実現】

教育方針

- 1 生きる力を育み「知・徳・体」の調和のとれた育成を図る。
- 2 児童生徒が「学ぶ楽しさ・よろこびを実感できる」授業を行う。
- 3 個性と実態を把握・考慮し、児童生徒一人一人を包み込み、可能性を引き出す丁寧な教育を行う。
- 4 児童生徒一人一人の能力や個性を伸ばし、自立や社会参加に向けた基礎を養う。
- 5 視覚障がい教育の専門性を生かした教育活動を行う。
- 6 家庭や地域と連携・協働した教育活動を行う。
- 7 教育課程の編成、実施、評価、改善(カリキュラムマネジメント)を通じて教育の質を高めていく。

経営方針

- 1 視覚障がい等の専門的な教育が充実・機能するための学校運営を推進する。
- 2 道内視覚支援・盲学校と連携し、教職員一人一人の専門性の向上に努める。
- 3 人権の尊重、防災、感染予防に配慮した安心・安全な学校経営に努める。
- 4 ICTの積極活用を進め、教務部・舎務部・事務部の協働的かつ機能的な組織運営を推進する。
- 5 教育公務員として服務を遵守するとともに、心身ともに健全な働き方ができる職場環境づくりを推進する。
- 6 道南圏域の視覚障がい教育のセンターとして教育相談、教育支援の充実に努める。
- 7 地域と積極的に連携した学校経営を行う。

重点教育目標

一人一人を包み込み、学ぶ楽しさ・よろこびを実感する教育の推進

教育の重点

- 1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」、「保有感覚・ICTの活用」を踏まえた授業づくり
- 2 一人一人の実態を適切に捉えた、教育活動全体を通じて行うきめ細やかな自立活動
- 3 いじめ防止プログラム、道徳教育、人権教育等による他者と共によりよく生きるための心の教育
- 4 合同学習や他校との交流及び合同学習、外部講師や地域資源の活用、体験活動等の多彩な学び
- 5 体力向上、心身の健康維持・増進、防災・防犯・事故防止、食育等の健康・安全・食に関する教育
- 6 人間関係形成、自己理解・自己管理といった自立と社会参加の基礎を育むキャリア教育

経営の重点

- 1 視覚障がい教育等の専門性の基盤となる研修・研究
- 2 人権、防災・防犯・事故防止、感染予防に配慮した安全・安心な学校づくり
- 3 保護者にとって「学ばせたい」、「選んでよかった」学校を実感できる情報提供・支援・連携
- 4 地域・関係機関にとって「身近な」、「頼りになる」学校となるような理解啓発・支援・連携
- 5 教職員にとって「働きがいのある」、「働きやすい」職場づくりと、職員が実感できる働き方の改革
- 6 周年行事に向けた校内業務、学校間及び地域連携

研究主題「障がいの重複化・多様化に対応した効果的な授業の在り方
～一人一人の可能性を引き出す支援はいかにあるべきか～」